

# 狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

## 1 ジャンル

小学校3年生

算数

B1 個に応じた学習

児童生徒

## 2 概要

学びが個別化されることによって、自分の課題に向き合って学習できる。ドリル型教材なので、目標を立てて学習し自分のペースで基礎・基本の確認をしながら進めていく。

## 単元(題材)名

かけ算の筆算を考えよう

## 単元(題材)目標

2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算について理解し、確実に計算することや成り立つ性質について理解することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、乗法の成り立つ性質を活用したり、計算を確かめたりするとともに、計算した過程を振り返り、学習に生かそうとしている。

## 活用したICT機器、アプリケーション等

まなびポケット「eboard」

## 本時のめあて

かけ算の筆算の仕方を確かめよう

## 写真・記録



## 本時の展開の概要

- 1 筆算の仕方を、既習の筆算をもとに考える。
- 2 筆算の仕方の工夫を考える。
- 3 解法についてノート、黒板、タブレットのいずれかを用いて自分の考えを出す。
- 4 問題に取り組む。

4 算数にもどる  
×2けたの筆算

×2けたのかけ算：一の位が0

1つ 12円のチョコを、クラス全員分 20に買いました。ぜんぶで、いくらになるでしょう。

式  $12 \times 20 = 240$  答え 240円

①  $12 \times 2 = 24$   
②  $12 \times 10 = 120$

$12 \times 2 \times 10 = 240$

## ICT機器の活用でねらった効果

○個別の学習支援(解法の説明)

## 児童生徒の様子(成果や課題)

- 解き方を友達に教えに行ったり、またはタブレットを用いて説明したりできる。
- 児童一人ひとりの習熟度に合わせて学習を進められる。
- なぜ筆算の途中で十の位は左へ1けたずらして書くのか、ヒント動画の解説を見ながら復習できる。0を省略しているから左へ1けたずらして書いているんだ」と、計算方法を再確認できたようだ。
- 課題をすべて終えた児童にとっては、やりごたえのある問題を解くことができた。自分で、どこを学ぶかを決めて学習している。

狭山市立柏原小学校 名前: